

GLOBAL COMMUNICATIONS

世界を繋ぐ 人に優しいコミュニケーションの創造へ

株式会社クレステック 決算説明会



2024年9月2日

(証券コード:7812
東証スタンダード)

本日の内容

1. 2024年6月期決算実績（連結）
2. 2025年6月期業績予想（連結）
3. 新中期経営計画
4. 株主還元

Appendix



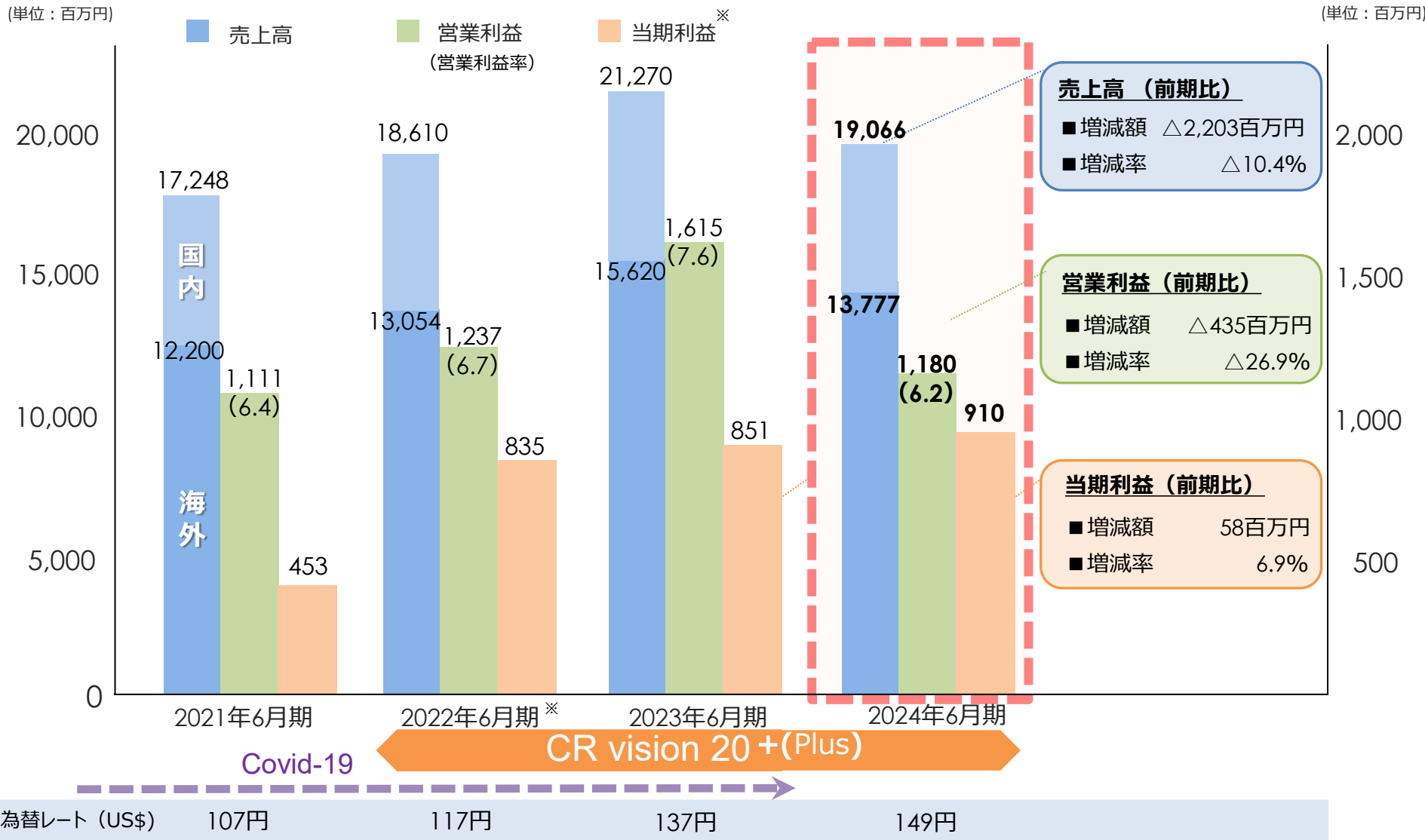
1.2024年6月期

決算実績 (連結)

1. 業績推移
2. 営業利益増減要因
3. 損益計算書(P/L)
4. セグメント別売上高
5. セグメント別営業利益
6. 販売先別売上高

1-1. 業績推移

- 顧客の在庫調整による生産活動の低調や新製品の遅延など、売上・利益に影響
- フィリピンの事業再編により売上大幅減となるが、連結当期利益は最高額更新

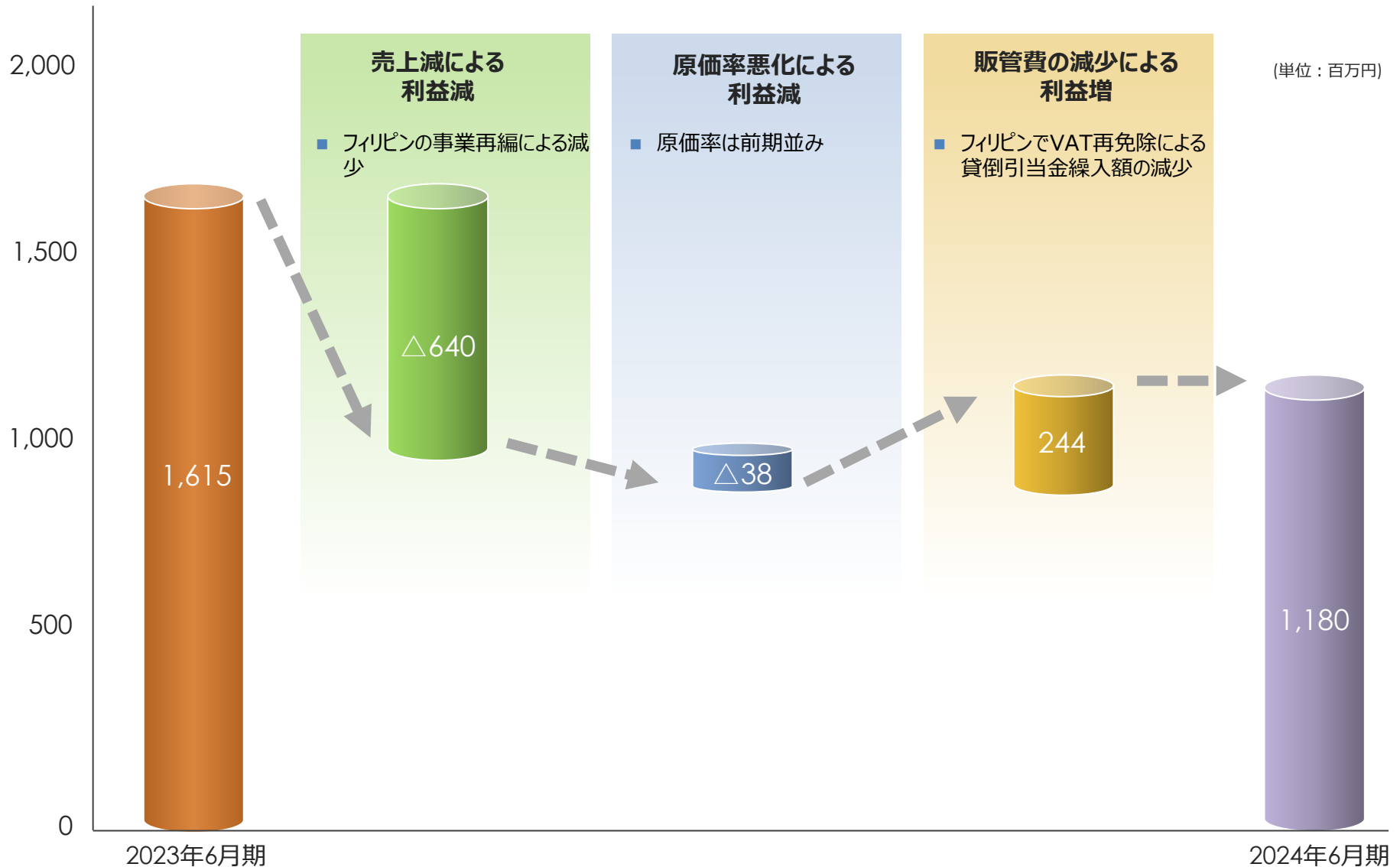


※ 当期利益は、「親会社株主に帰属する当期純利益」について記載

※ 2022年6月期については、会計方針の変更による遡及修正後の数値を記載

1-2. 営業利益増減要因

- 販管費の減少による利益増を、売上高の減少による利益減が上回り減益



1-3. 損益計算書 (P/L)

(単位：百万円、%)

	実績				
	2023年6月期		2024年6月期		
	金額	構成比	金額	構成比	前期比 増減額（率）
売上高	21,270	100.0%	19,066	100.0%	△2,203（△10.4%）
売上総利益	6,185	29.1%	5,506	28.9%	△679（△11.0%）
販売費及び一般管理費	4,569	21.5%	4,325	22.7%	△244（△5.4%）
営業利益	1,615	7.6%	1,180	6.2%	△435（△26.9%）
経常利益	1,616	7.6%	1,290	6.8%	△326（△20.2%）
親会社株主に帰属する 当期純利益	851	4.0%	910	4.8%	58（6.9%）
減価償却費	781	—	847	—	66（8.6%）
設備投資額	1,674	—	836	—	△837（△50.0%）

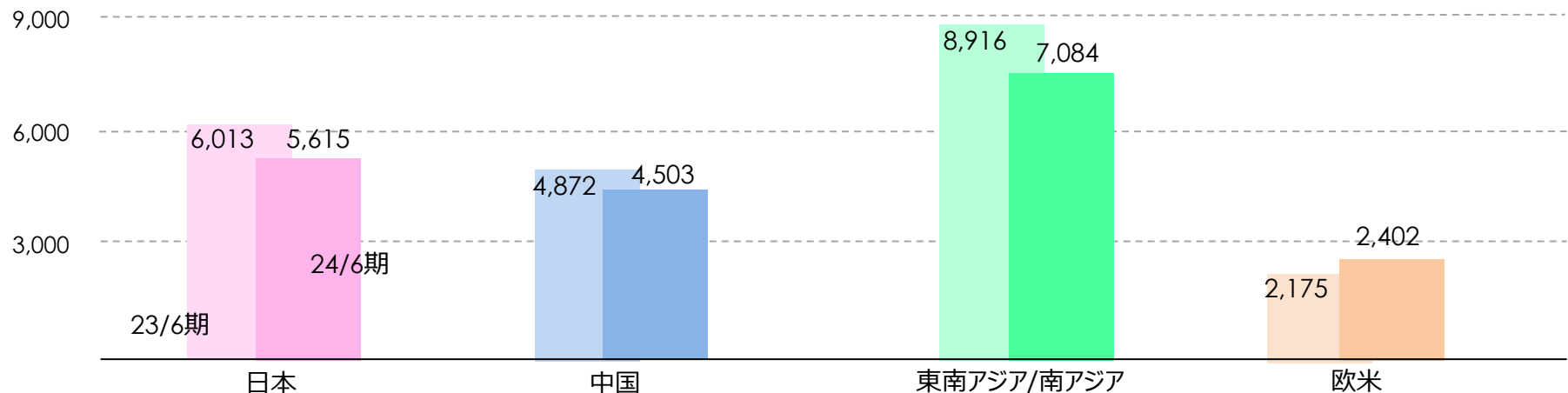
(注) 換算レート（期中平均レート）は、2023年6月期は、1ドル137円、2024年6月期は、1ドル149円となります。

1-4. セグメント別売上高

(単位：百万円、%)

		実績					コメント
		2023年6月期		2024年6月期			
		金額	構成比	金額	構成比	前期比 増減額（率）	
売上高							
	日本	6,013	27.4%	5,615	28.6%	△398（△6.6%）	■ 巣ごもり需要の反動で新規案件停滞 ■ 法改正減少による自治体向け業務の減少
	中国	4,872	22.2%	4,503	23.0%	△369（△7.6%）	■ 上海 景気悪化による販促活動の減少 ■ 蘇州工場 医薬品堅調も日系企業が不調 ■ 東莞 全般的に日系企業の生産活動低調
	東南アジア/ 南アジア	8,916	40.6%	7,084	36.1%	△1,832（△20.5%）	■ フィリピン 事業再編により大幅に取引減少 ■ 各拠点 在庫過多による生産調整継続
	欧米	2,175	9.9%	2,402	12.3%	226（10.4%）	■ 米国 輸送機器の取引拡大、新規顧客も ■ 欧州 玩具系電器・輸送機器企業との取引拡大

<売上高>



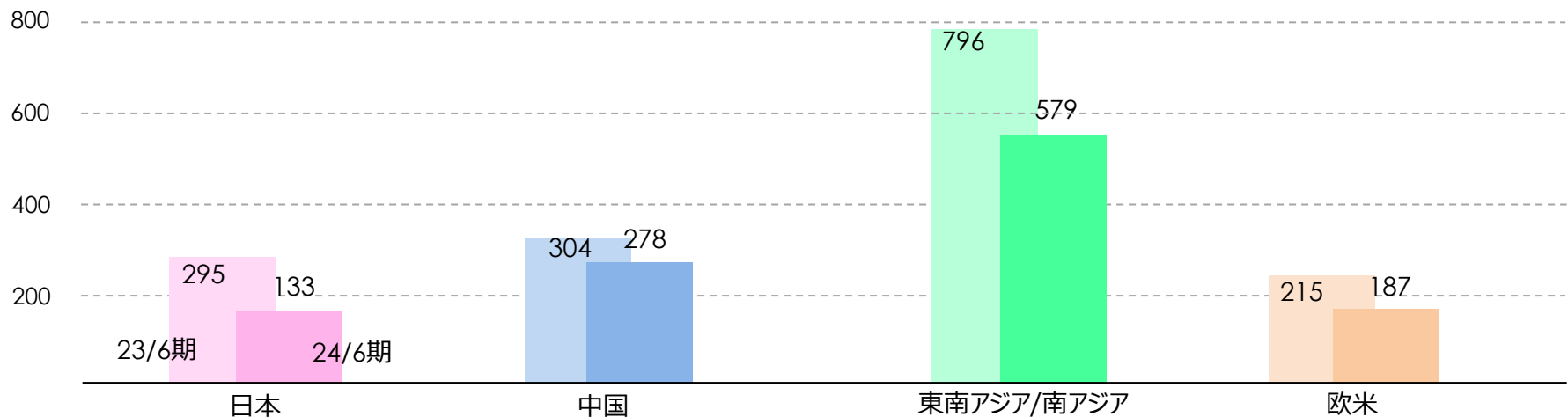
(注) セグメント間取引消去調整前

1-5. セグメント別営業利益

(単位：百万円、%)

	実績					コメント
	2023年6月期		2024年6月期			
	金額	構成比	金額	構成比	前期比 増減額（率）	
セグメント利益（営業利益）						
日本	295	18.3%	133	11.3%	△162（△54.8%）	■ 売上減による利益減 ■ 賃上げ(賞与増)や事業活動による費用拡大
中国	304	18.9%	278	23.6%	△26（△8.7%）	■ 上海 販売減による利益悪化 ■ 蘇州工場 新工場関連の費用が増加 ■ 東莞 商社化による利益改善
東南アジア/ 南アジア	796	49.4%	579	49.1%	△ 217（△27.3%）	■ 各拠点 生産活動の停滞により利益悪化 ■ フィリピン 事業再編により利益改善
欧米	215	13.4%	187	15.9%	△27（△12.8%）	■ 米国 売上減による利益減 ■ 欧州 売上増による利益増

<セグメント利益>



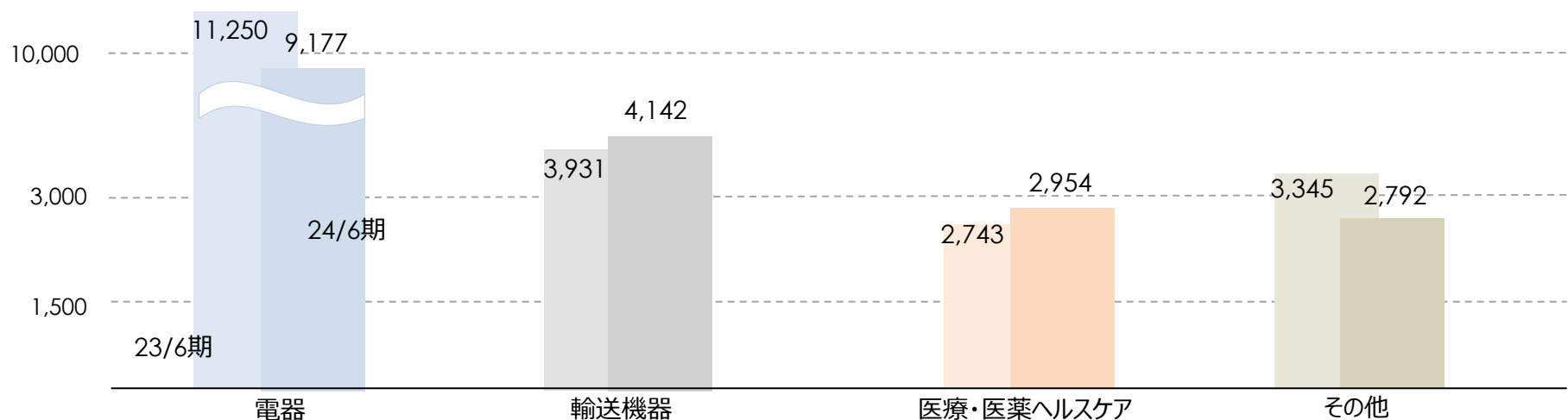
(注) セグメント間取引消去調整前

1-6. 販売先別売上高

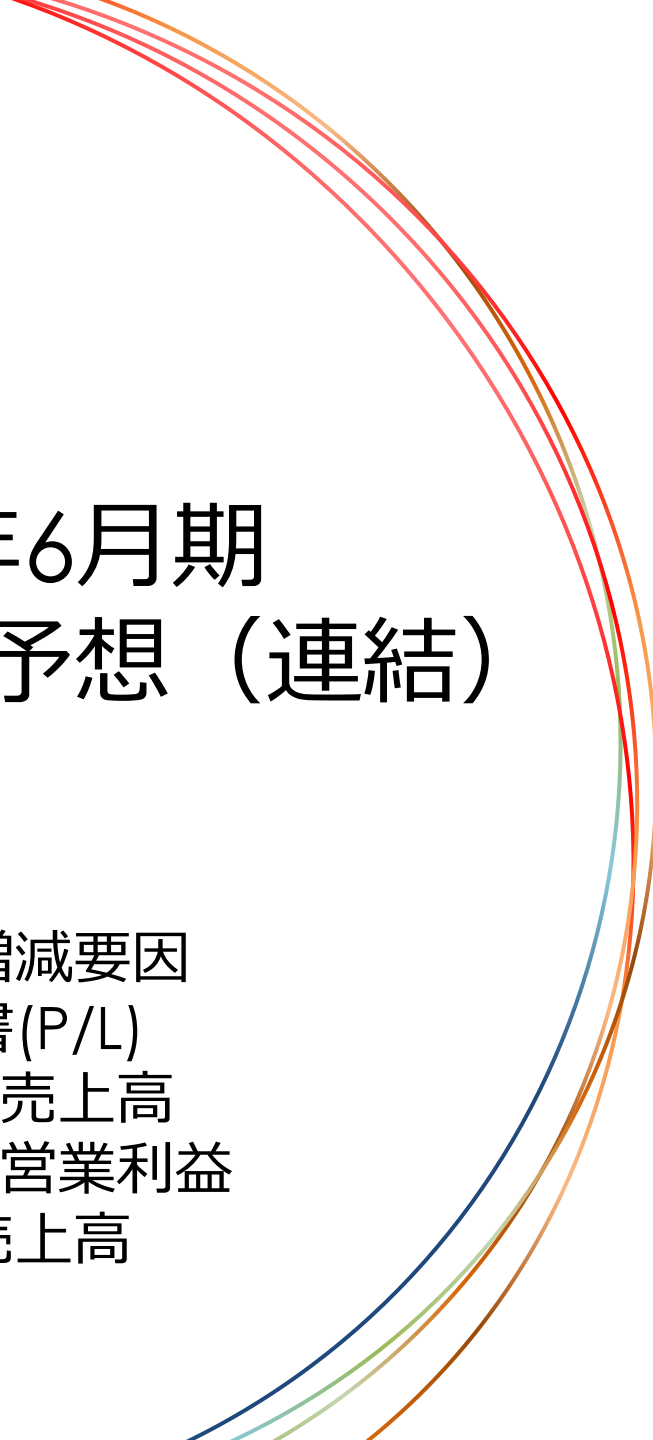
(単位：百万円、%)

	実績					コメント
	2023年6月期		2024年6月期			
	金額	構成比	金額	構成比	前期比 増減額（率）	
電器 （デジタル製品・情報機器・家電）	11,250	52.9%	9,177	48.1%	△2,072（△18.4%）	■ フィリピン 事業再編により情報機器関連 取引減少 ■ アジア全般 生産調整により取引減少
輸送機器	3,931	18.5%	4,142	21.7%	211（5.4%）	■ 日本・欧米にて取引堅調
医療・医薬ヘルスケア	2,743	12.9%	2,954	15.5%	211（7.7%）	■ 蘇州工場 継続的に取引堅調
その他	3,345	15.7%	2,792	14.6%	△553（△16.5%）	■ 日本 自治体向け取引減少 ■ 上海 販促系業務が全般的に停滞 ■ インドネシア 教育関係の取引減少

<販売先別売上高>



(注) 上記実績数値は未監査

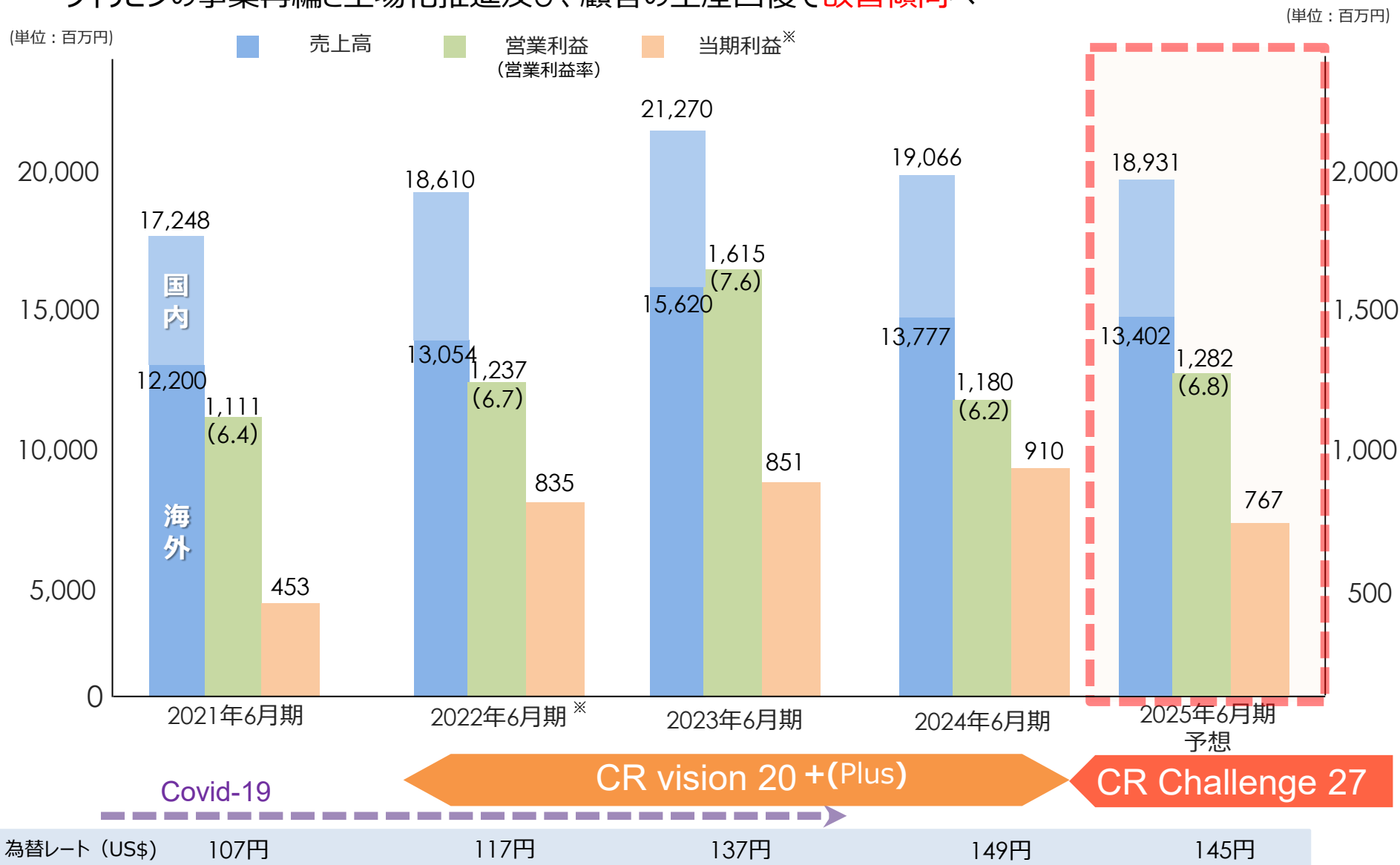


2. 2025年6月期 業績予想（連結）

1. 業績予想
2. 営業利益増減要因
3. 損益計算書(P/L)
4. セグメント別売上高
5. セグメント別営業利益
6. 販売先別売上高

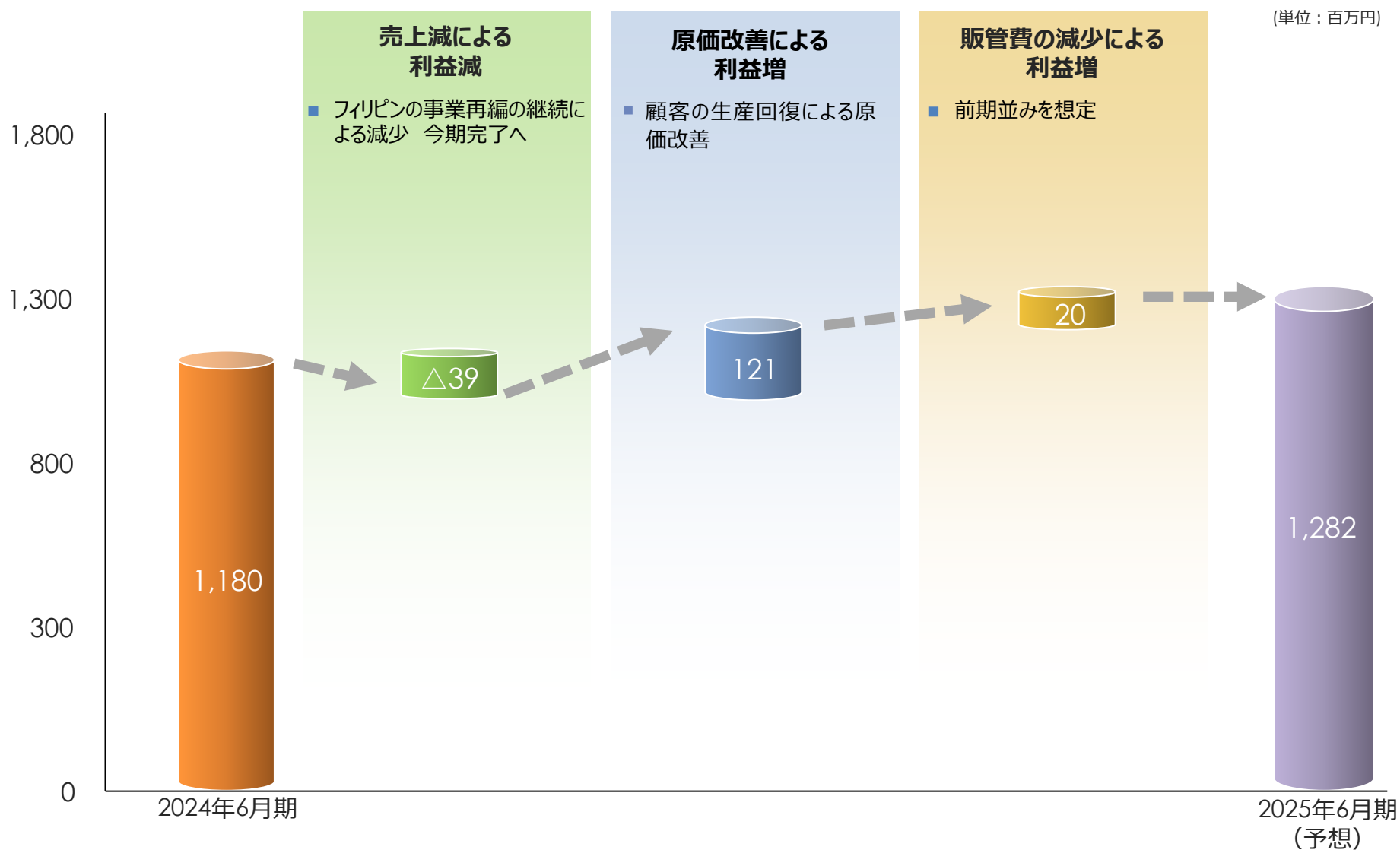
2-1. 業績予想

- 顧客の生産は回復傾向だが、インフレや消費停滞など世界経済は依然不透明
- フィリピンの事業再編と工場化推進及び、顧客の生産回復で改善傾向へ



2-2. 営業利益増減要因

- 売上高の減少による利益減を、原価改善及び販管費の減少による利益増が上回り増益



2-3. 損益計算書 (P/L)

(単位：百万円、%)

	実績			予想		
	2024年6月期			2025年6月期		
	金額	構成比	前期比 増減率	金額	構成比	前期比 増減額 (率)
売上高	19,066	100.0%	△10.4%	18,931	100.0%	△135 (△0.7%)
売上総利益	5,506	28.9%	△11.0%	5,588	29.5%	82 (1.5%)
販売費及び一般管理費	4,325	22.7%	△5.4%	4,305	22.7%	△20 (△0.5%)
営業利益	1,180	6.2%	△26.9%	1,282	6.8%	102 (8.6%)
経常利益	1,290	6.8%	△20.2%	1,245	6.6%	△45 (△3.5%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	910	4.8%	6.9%	767	4.1%	△143 (△15.7%)
減価償却費	847	—	8.6%	837	—	△10 (△1.2%)
設備投資額	836	—	△50.0%	750	—	△86 (△10.3%)

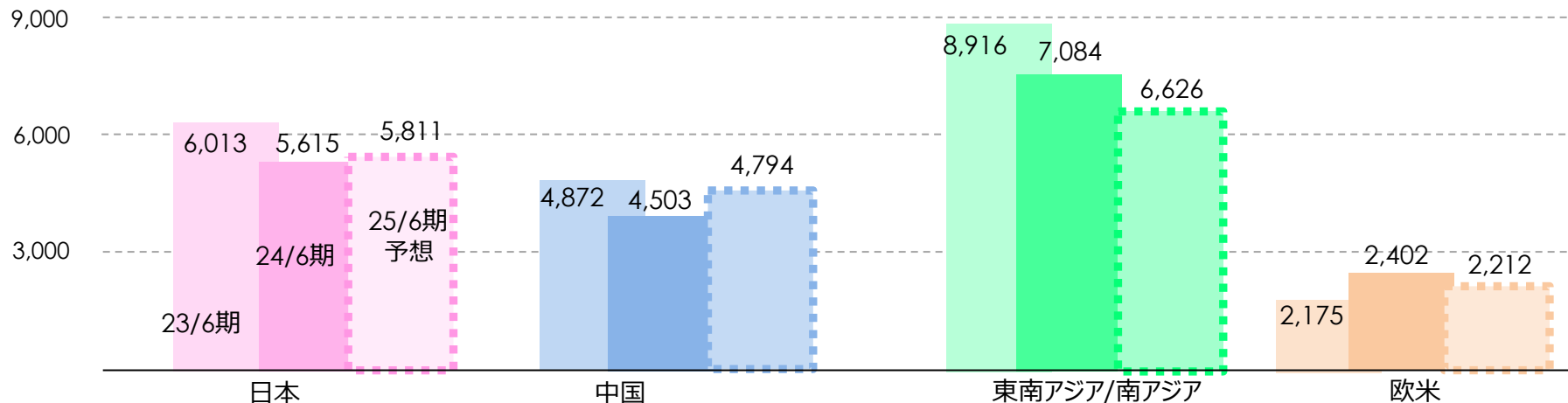
(注) 2025年6月期の想定レート（期中平均レート）は1ドル145円を想定しております。（2024年6月期は149円）

2-4. セグメント別売上高

(単位：百万円、%)

	実績		予想			コメント
	2024年6月期		2025年6月期			
	金額	構成比	金額	構成比	前期比 増減額（率）	
売上高						
日本	5,615	28.6%	5,811	29.9%	195（3.5%）	■ 開発遅延回復による取引増加 ■ 情報機器関連一部の取引堅調
中国	4,503	23.0%	4,794	24.7%	290（6.5%）	■ 蘇州工場 医薬は継続的に堅調 ■ 上海 販促系事業の改善による取引拡大
東南アジア/ 南アジア	7,084	36.1%	6,626	34.1%	△457（△6.5%）	■ フィリピン 事業再編の継続による減少 ■ 各拠点 生産調整の回復により増加
欧米	2,402	12.3%	2,212	11.4%	△190（△7.9%）	■ 米国 新規顧客拡大も翻訳事業は低調 ■ 欧州 玩具系電器企業との取引減少

<売上高>



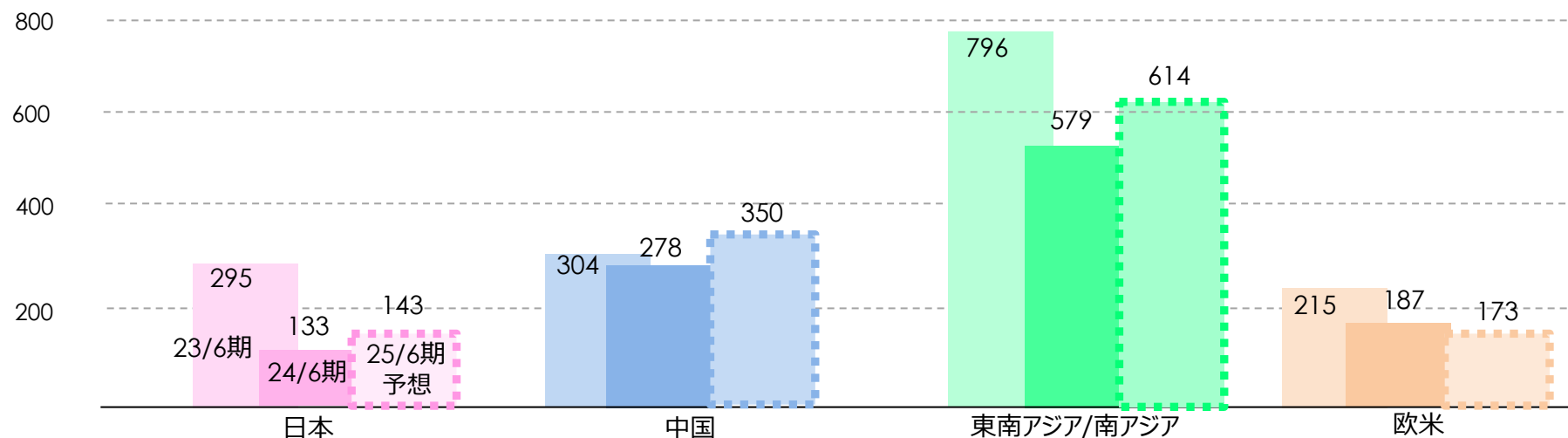
(注) セグメント間取引消去調整前

2-5. セグメント別営業利益

(単位：百万円、%)

	実績		予想			コメント
	2024年6月期		2025年6月期			
	金額	構成比	金額	構成比	前期比 増減額（率）	
セグメント利益（営業利益）						
日本	133	11.3%	143	11.2%	10（7.7%）	■ 自治体向け取引低調
中国	278	23.6%	350	27.3%	72（25.9%）	■ 上海 販促系事業の取引拡大により改善 ■ 東莞 商社化により利益安定
東南アジア/ 南アジア	579	49.1%	614	47.9%	35（6.1%）	■ フィリピン 工場化に向けた投資により利益減 ■ タイ 顧客の生産調整が改善
欧米	187	15.9%	173	13.5%	△14（△7.6%）	■ 米国 安定的に利益維持 ■ 欧州 売上減による利益減

<セグメント利益>



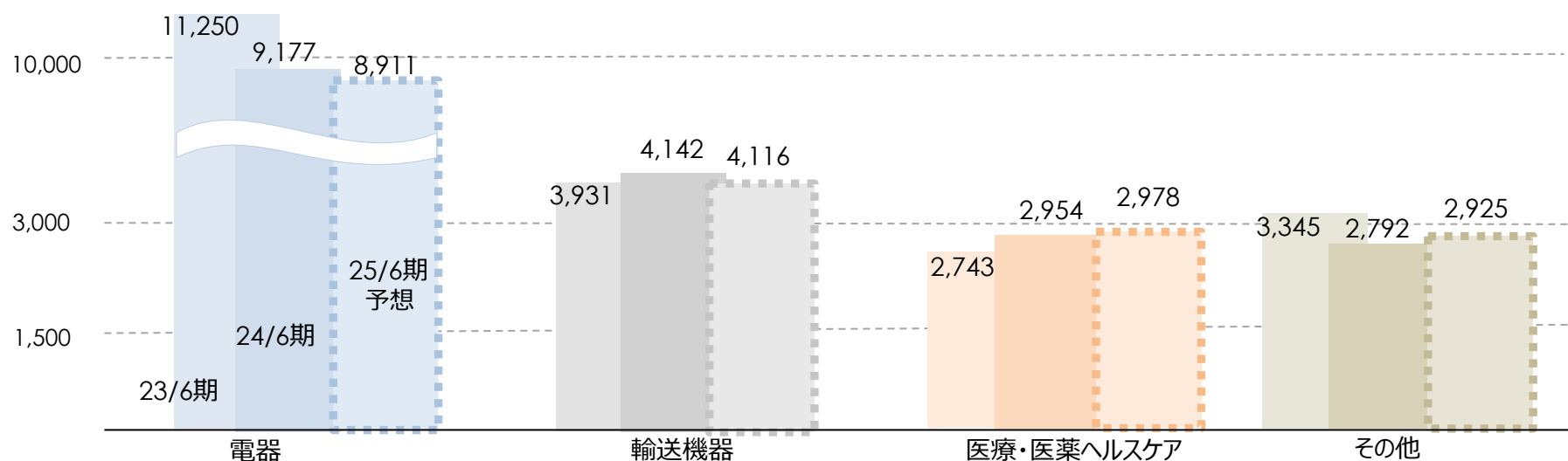
(注) セグメント間取引消去調整前

2-6. 販売先別売上高

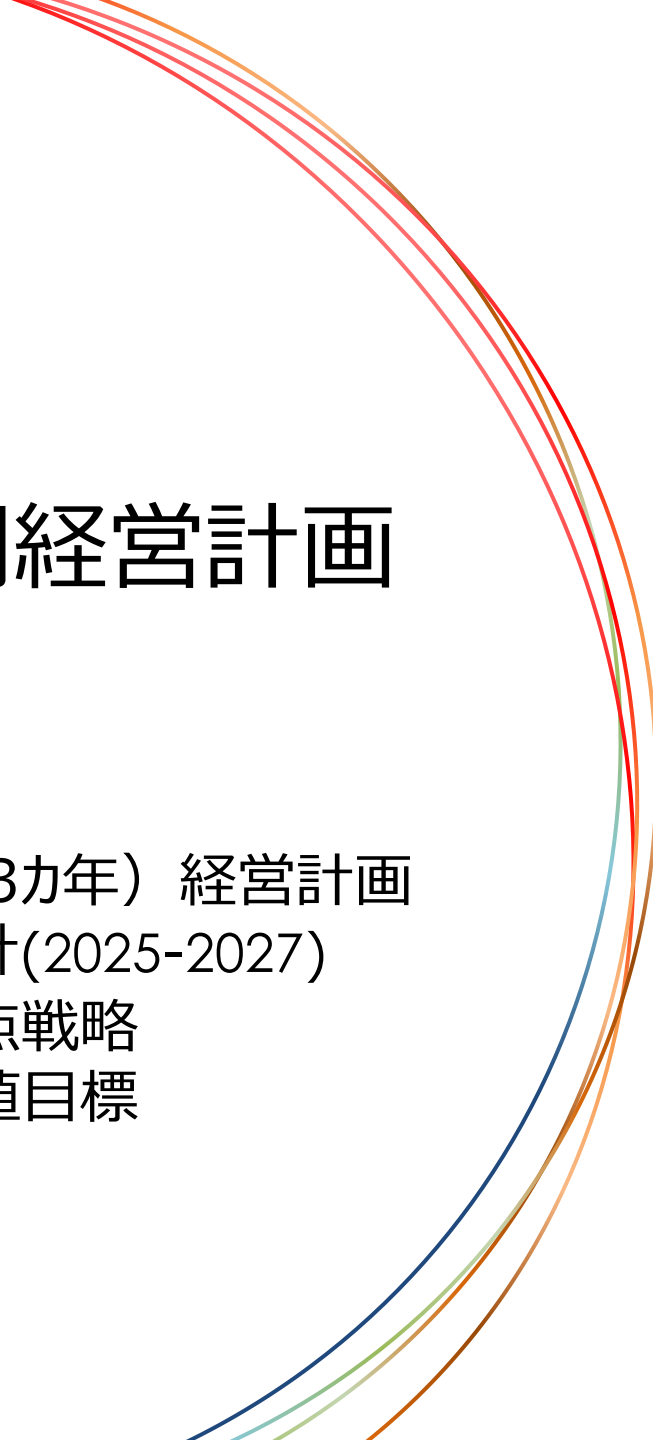
(単位：百万円、%)

	実績		予想			コメント
	2024年6月期		2025年6月期			
	金額	構成比	金額	構成比	前期比 増減額（率）	
電器 （デジタル製品・情報 機器・一般家電）	9,177	48.1%	8,911	47.1%	△265（△2.9%）	■ フィリピンの事業再編の継続による減少
輸送機器	4,142	21.7%	4,116	21.7%	△25（△0.6%）	■ 安定的に推移
医療・医薬 ヘルスケア	2,954	15.5%	2,978	15.7%	23（0.8%）	■ 蘇州工場 堅調に推移
その他	2,792	14.6%	2,925	15.5%	133（4.8%）	■ 販促系事業の改善による売上増

<販売先別売上>



(注) 上記実績数値は未監査



3. 新中期経営計画

新中期（3力年）経営計画

- ・基本方針(2025-2027)
- ・経営重点戦略
- ・経営数値目標

CR Challenge 27

基本方針

“グローバル化に向けた新たな挑戦”

41期からスタートした新経営体制のもと、“**Challenge**”をテーマに、強みであるグローバルネットワークを最大限に活用し、サービス力、グループの連携力で、**グローバル/外資系企業との取引拡大、既存企業との取引拡充**を図りながら、ドキュメント業界で世界に誇れる日本企業を目指す。



経営重点戦略

経営数値目標

前中期計画“CR Vision 20+(plus)”の企業基盤の確立と安定化を継続的に図りつつも、新経営体制のもと、“**新たな挑戦**”として、様々な強化戦略に挑む。

経営重点戦略



事業強化戦略

- グローバル/外資系企業との取引拡大
（海外のグローバルネットワークを最大限に活用した One Stop Serviceの拡大）
- 既存企業との取引拡充
（グループ連携で既存企業の川上、川下領域の深耕拡充）
- 新規企業との連携やM&Aの推進
（新事業領域の拡大に向けた攻めの投資）

体制強化戦略

- 事業強化に沿った人事戦略
（グローバル及びマネジメント人材が挑戦しやすい職場環境の整備）
- 既存事業領域の再構築
（社内システムの再構築による生産・販売体制の強化、最適化の推進）
- 認知度向上への取り組み
（持続可能な社会に向けたSDGsの促進および情報発信）

経営数値目標

2027年目標

売上高 **200** 億円

営業利益 **14** 億円

営業利益率 **7.0** %

※事業評価：営業利益と営業利益率を最重要数値として位置付けています。

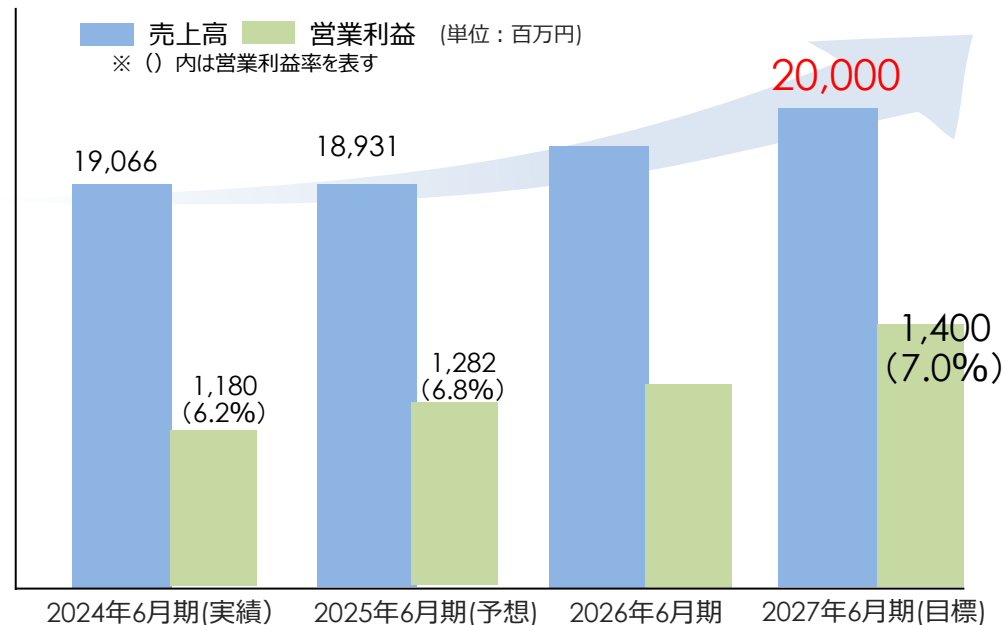
※為替レート（想定）1ドル145円

初年度から

- 事業強化のための攻めの**投資フェーズ**
- **グローバル企業**との取引拡大

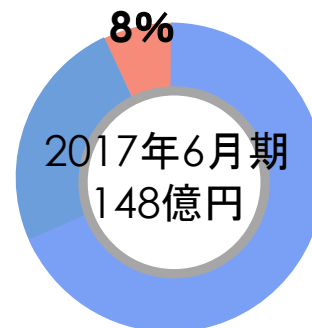
次年度から

- 投資の**回収フェーズ**で目標達成に向け加速



CR Challenge 27

外資系企業の売上比率



18%以上

2027年6月期
200億円

4. 株主還元

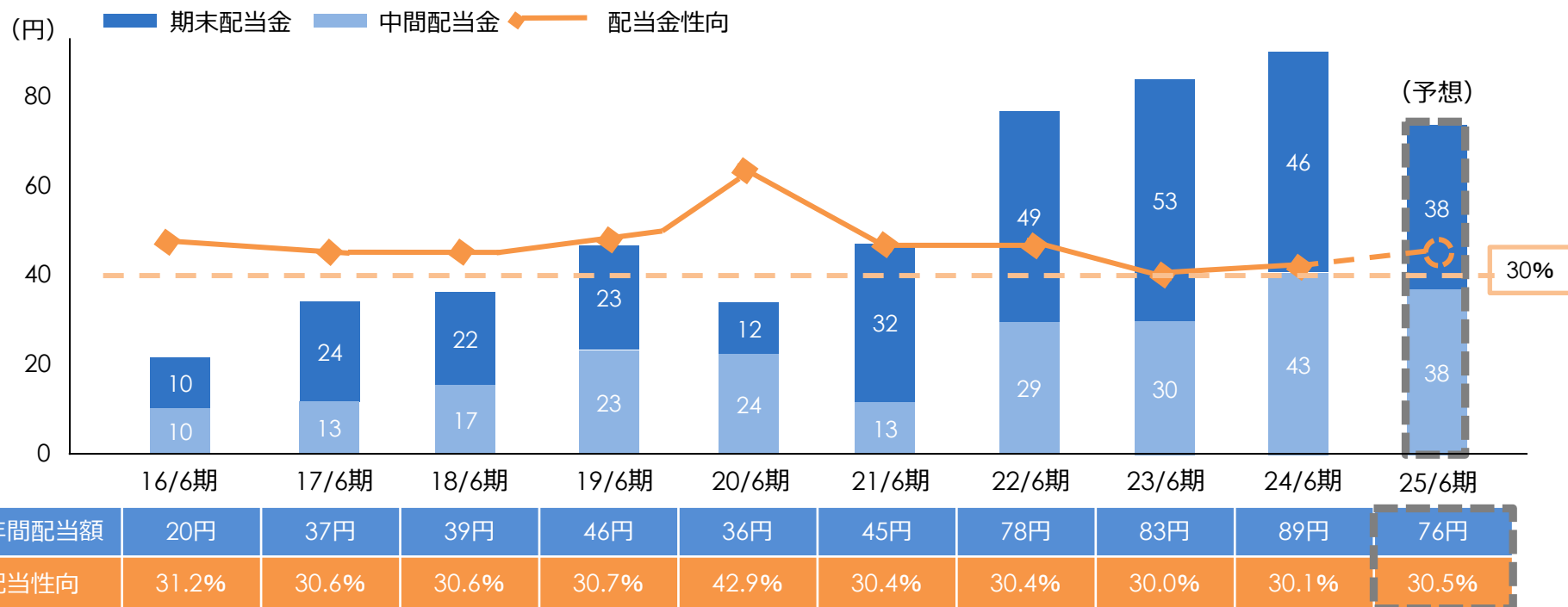


配当方針

- 持続的な投資への内部留保、業績動向及び資金状況等を総合的に勘案して**業績連動型**の配当
- 期末と中間の年2回の配当、配当金額は**配当性向30%以上**を目標

配当金及び配当性向推移

- 2024年6月期 年間配当金額、**最高額更新**（89円）
- 上場以来 配当性向30%以上を維持も2025年6月期は減配（予想）



(注) 2022年6月期の配当性向については、会計方針の変更による遡及修正前の数値を記載



Appendix

会社概要

成長戦略概要

成長戦略トピックス

長期戦略方針（10年）NEXT10

Global Communications

“世界を繋ぐ 人に優しいコミュニケーションの創造へ”

■ 本 社：静岡県浜松市中央区東三方町69番地

■ 設 立：1984年9月17日

■ 代表者：栗沢 威臣（2024年7月就任）

■ 証券コード：7812（東証スタンダード）

国数・拠点数（連結）



11 か国 **31** 拠点

連結売上高（6月決算）



190 億円

2024年6月期連結売上

従業員数（連結）



1,383 人

2024年6月30日現在

翻訳実績



2023年12月末現在

105 言語

各バリエーション含む

取引先実績



2,080 社以上

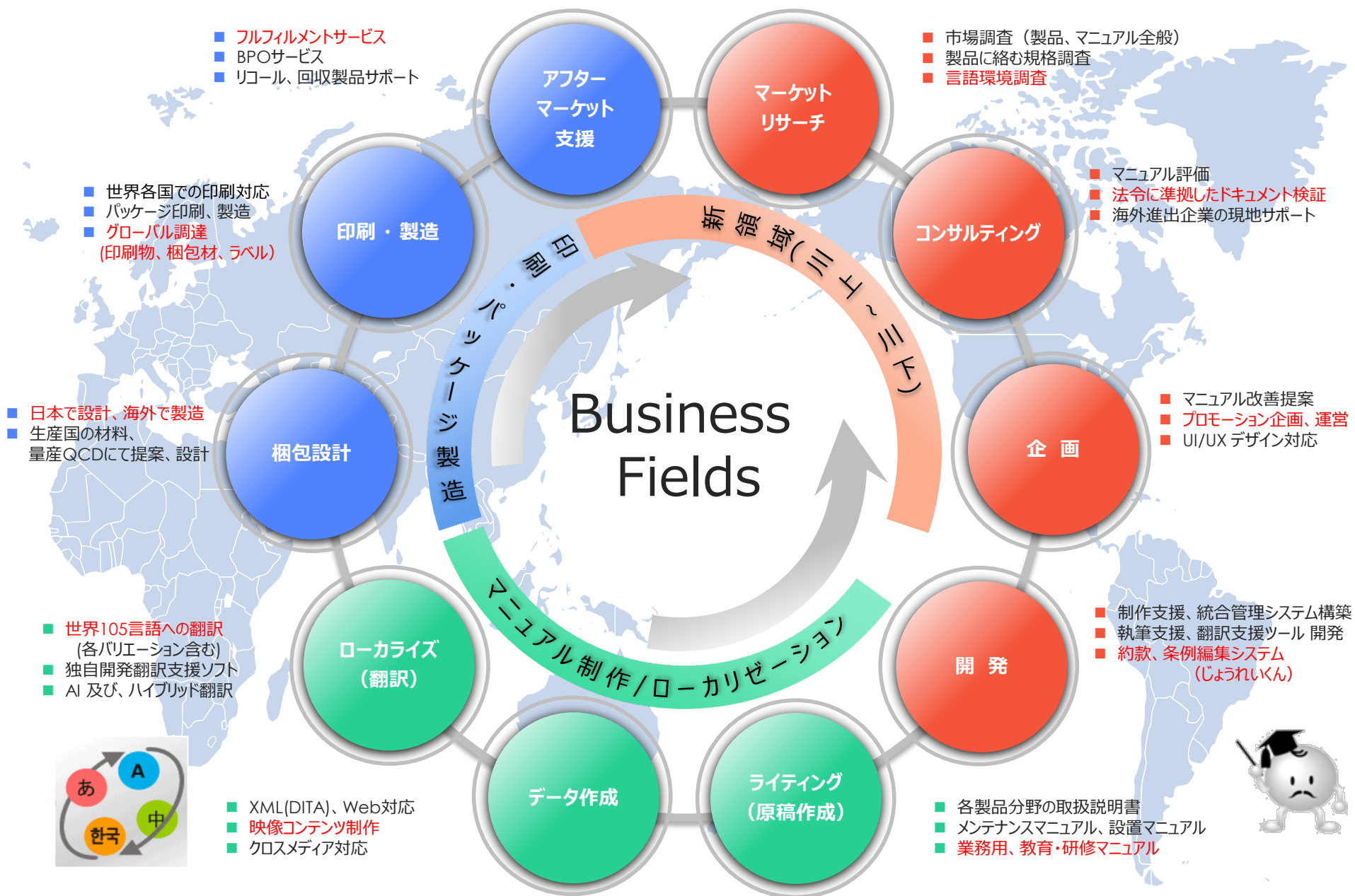
クレストックグループの取引先実績

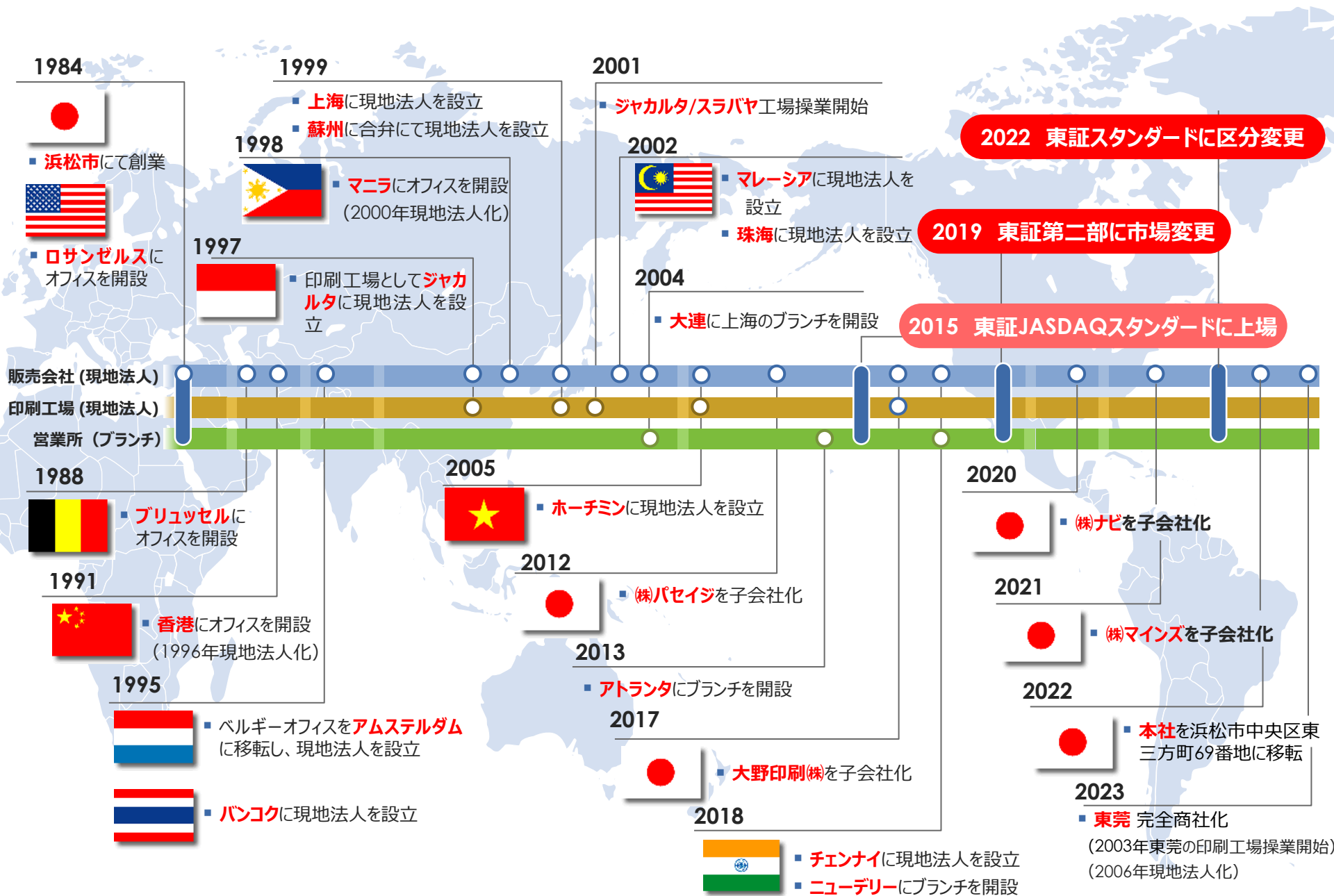
取り扱い品目

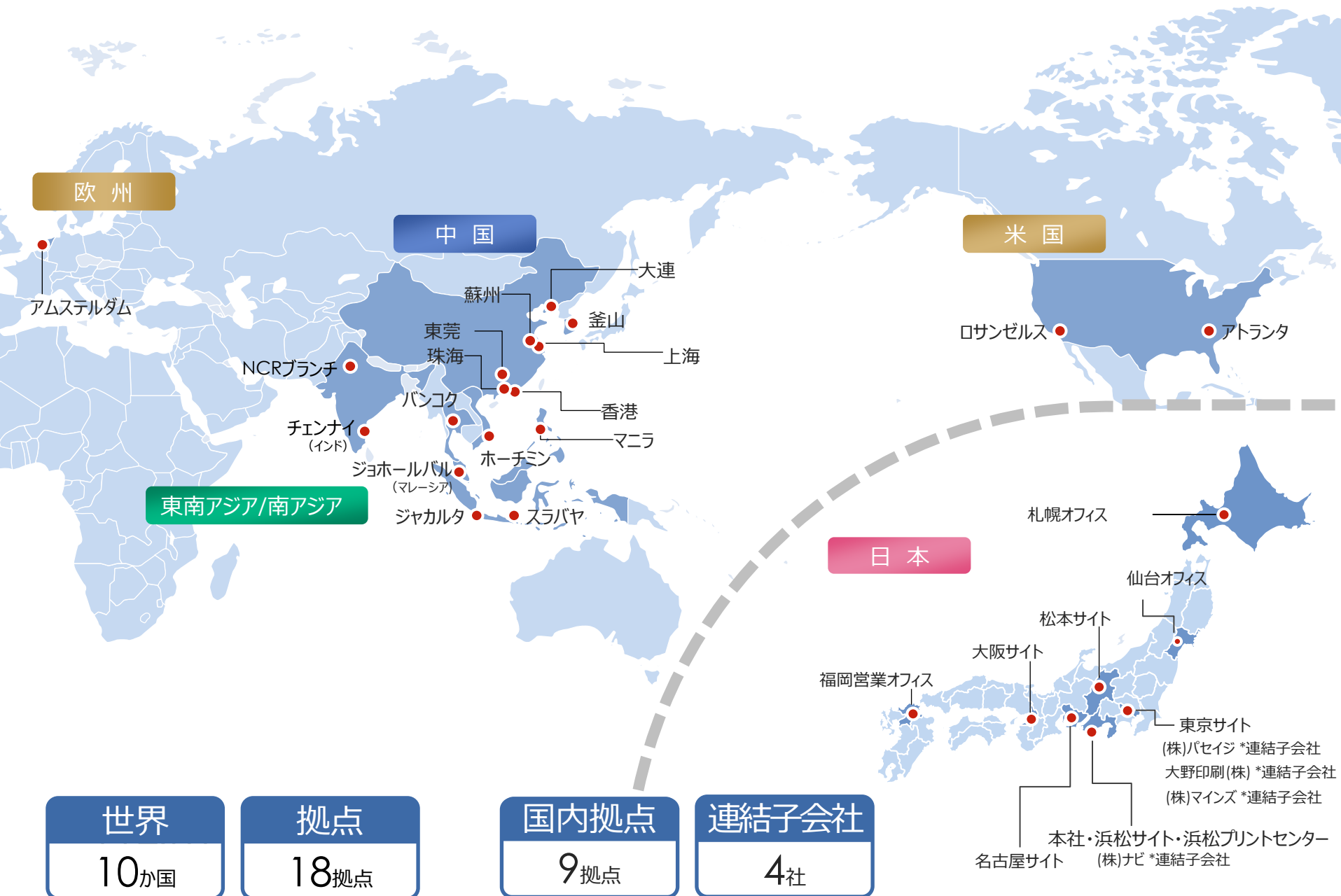


約 **170** 品目

当社が関わった一般消費者向けの品目数







拠点別事業領域（サービス項目、機能）

セグメント		サービス項目									拠点機能						
		マーケティング	コンサルティング	企画	開発	ライティング	データ作成	ローカライズ	梱包設計	印刷・製造	アフターマーケット支援	製造拠点 ※POD	販売拠点 （倉庫 品質管理）	翻訳拠点	制作拠点 （ライティング）	研究・開発拠点	備考
拠点																	
日本	当社(釜山含む)	○	●	●	●	●	●	●	●	●	○	■	■	■	■	■	※POD印刷/日英言語
	パセイジ		○	●		●	●	○		●			■		■		
	大野印刷		○	●		●	●	○		●		■	■		■		冊子印刷
	ナビ	○	○	●							●		■		■		販促/BPO
	マインズ	●	●	●											■		販促
中国	蘇州									●	○	■					冊子印刷
	上海（大連含む）	●	○	●		●	●	●			○			■	■		販促/中国言語
	華南地区（東莞/他含む）								●	●			■				冊子/パッケージ印刷
東南アジア・南アジア	ベトナム（ホーチミン）								○	●		■	■				パッケージ加工
	フィリピン（マニラ）								●	●			■				アッセンブリー
	タイ（バンコク）	○	○	●		○	●	●	○	●			■	■	■		アジア言語
	インドネシア （ジャカルタ、スラバヤ）								●	●		■					冊子/パッケージ印刷
	マレーシア（ジョホールバル）									●			■				
	インド（チェンナイ）	○		○			○	●		●			■				2018年設立
欧米	オランダ（アムステルダム）	●	○			○	●	●		●	●		■	■	■		欧州/中東言語
	アメリカ（ロサンゼルス）	●	○		○	○	●	●		●	●	■	■	■			※POD印刷

※POD：Print On Demand の略

- サプライチェーンの川上から川下まで**一気通貫のサービス**
- 更なる**拠点拡大**で、世界規模でのグローバル体制強化へ

欧州

- 欧州系言語の翻訳
EU中心に60言語以上対応
- 印刷・アッセンブリー（BPO）
- 販売支援サービス



中国

- 特殊印刷・アッセンブリー
- パッケージ製造
- 翻訳（中国系言語）
- 販売支援サービス



米国

- マルチメディア（動画、HTML等）
- 業界動向調査
- フルフィルメント
- 販売支援サービス



ONE STOP GLOBAL SOLUTION

翻訳

翻訳・印刷・DTP

印刷・翻訳

印刷

印刷

世界のリソースの有効活用で
最高のQCDを訴求
更に世界どこでも
日本基準のサポート体制

印刷・販売支援

東南アジア/南アジア

- 印刷、パッケージ製造
- 物流梱包資材製造
- 商社機能
- 翻訳（東南アジア系言語）



日本

- ドキュメント制作、総合ソリューション
-コンサル、企画
-販売支援サービス
-システム開発



- 経験豊富な**スペシャリスト**による安定的なサービス提供
- グローバルの中で**高品質なサービス**提供



ドキュメンテーション (質の高い制作力)

- 豊富な経験と製品知識をもつ
テクニカルライターによる原稿作成
- 家電から自動車、建機や特殊製品まで
多くの製品分野に対応

大学（研究室）との共同研究

大阪公立大学土井研究室

「マニュアルの動画表現の妥当性」について
TCシンポジウム2023にて発表（10月6日）

人間工学の視点やデザイン思考なども含め、今後のマニュアルの在り方や見せ方などを各大学と共同研究を推進！



加盟団体

JICA 一般財団法人テクニカルコミュニケーター協会
Japan Technical Communicators Association

翻訳 (言語のスペシャリスト)

- 翻訳取引額で、**日本で4位**
出所：言語サービスプロバイダーランキング2024
- 100言語以上への翻訳
(2024年累計実績 **105言語**対応)

2024年 CSAランキング

Common Sense Advisory社

総合で世界44位にランクイン

米国Silicon Valleyにて開催された世界的翻訳イベント**“LocWorld”**(10月)に出展（毎年）。

LocWorld50 Silicon Valley



米国を代表する
大手IT企業が
多数視察！

品質管理力 (世界に通じる高い品質基準)

- 品質基準が高い**医薬品業界**の取引拡大
(中国、欧米、日本の製薬会社と取引)
- 印刷・加工工程において**防塵**対応の
環境構築

医薬・ヘルスケア品向け 能書製造

GMP基準をベースとした製造工程

蘇州工場・インドネシア工場にて
新分野拡大



製造ライン（蘇州）

取扱製品
(インドネシア)



- お客様との技術資料制作の実績で培われた**信頼関係**により、ビジネスフィールド拡大
- 既存事業に加え、販促などの**川上業務**やユーザー支援の**川下業務**も

展開事例の紹介①

(マーケティング)

営業向け商品説明
ツールからイベント企
画、ブース運営まで



(販売支援サービス)

お客様の海外市場での販
売拡大を目的に海外にて
販売代理店を！



POCKETALK
ポケットーク

* ポケットーク社
「POCKETALK® (ポケットーク)」を海外市場にて販売

(アフターマーケット)

ECサイト構築・運
営からフルフィルメ
ント事業まで



信用力

- 長年の技術資料制作の実績から
生まれた強いお客様との**信頼関係**

安心感

- 世界中どこでも日本基準をベース
とした高い**品質保証**

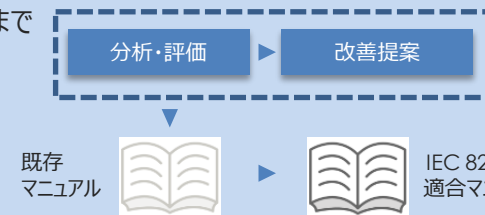
対応力

- 競合他社にはないグローバル体制
にて**一気通貫のサービス**

展開事例の紹介②

(コンサルティング)

マニュアルの分析・評価から海外の法規アドバイス
まで



(コラボレーション)

オンラインマニュアル作成・運用サービス



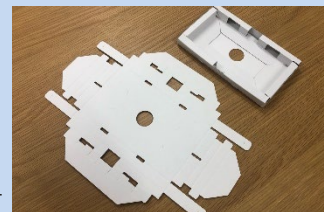
コニカミルタ社開発**“ココミテ”**の販売
マニュアルのプロ × **プラットフォーム**
の融合で業務マニュアル化を推進！



(商社機能)

製品梱包のノウハウ
からコスト低減の新
梱包資材の提案と
調達へ

段ボール緩衝材



品質を追求した新たな事業分野拡大

- 医薬品・医療機器
- ヘルスケア製品
- 生活用品
- 食品・飲料品

**事業分野
拡大**

経営資源を生かした事業領域拡大

- コンサルティング
- 販売支援サービス
- アフターサービス
- BPOサービス

**事業領域
拡大**

ノウハウ・人的資産による事業の深掘り

- 新メディアサービス
- AI化による業務支援
- 翻訳サービス(特殊分野、NMT等)
- 梱包資材開発

**既存事業
深化**

既存事業

国内: ドキュメント制作
海外: 印刷、製造

医薬品業界へ

高品質が要求される医薬品業界へ

能書（医薬マニュアル）



・GMP基準をベースとした製造工程

・中国、欧米、日本の製薬
会社**50社以上**との取引拡大
（中国・蘇州）

事業分野
拡大

一般家電から消費財業界へ

印刷・加工工程に
おいて**防塵**対応

インドネシア印刷機



・日系**生活用品**企業及び**医療機器**製造
企業と取引拡大（インドネシア）

生活用品・ヘルスケア用品業界へ

マーケティングサポート（川上）

販売促進プロモーションサービス

ロゴマッピングサービス

LOGO Mapping



企業ロゴをベースにイメージネー
ションを刺激する空間演出！

事業領域
拡大

「AIソリューション」
でお客様支援

C's-navi



AIの活用でCS（顧客満足度）向上に
貢献する**チャットボットサービス**をご提供

アフターマーケット支援（川下）

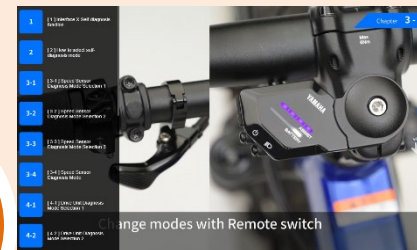
新たなコミュニケーションツールで



動画×HTML×ドキュメント
つなぐソリューション

イキキミ

インタラクティブ動画をベースに情報・コミュニケー
ションの相互の「行き来」を実現するソリューション

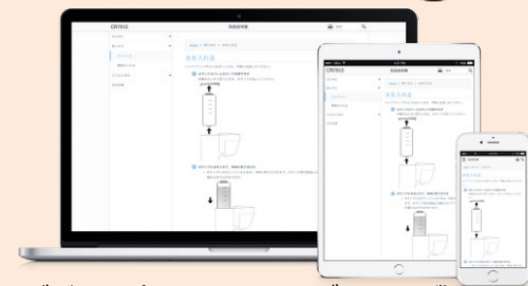


既存事業
深化

スマートフォンで見える
マニュアル作成サービス



HTML Forge



どんなデバイス（PC、スマホ、タブレットなど）
でも閲覧できるトリセツデータに！

メディアを超越した情報提供へ

NEXT 10

(2022-2031)

コーポレートスローガンのもと、長期視点に立ち、更なる変革として**新領域への挑戦**を推進する

新領域への挑戦とは

マニュアル制作から総合情報創造企業として、BtoCからBtoBまで企業内の全ての情報を分かりやすくユーザーに提供できる体制構築を目指して、今後10年 事業の拡大を図る

コーポレートスローガン

Global Communications
“世界を繋ぐ 人に優しいコミュニケーションの創造へ”

ビジョン

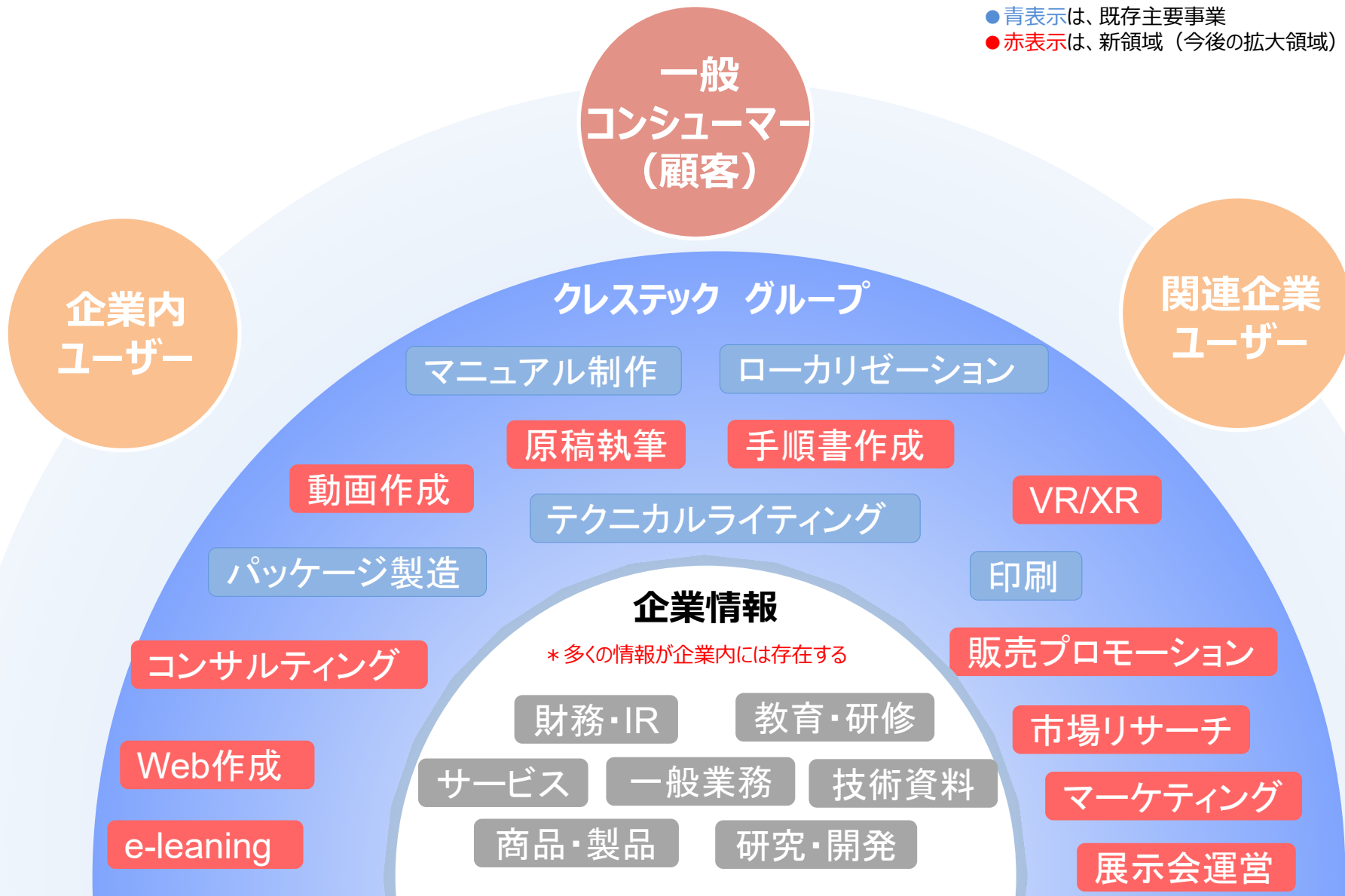
全てのコミュニケーションを創造する「情報創造企業」へ

ミッション

我々は世界の人とヒト、人とモノを繋ぐコミュニケーションを創造することで、伝えたい情報にカタチを与え、世界中の人々の心に感動と喜びを創出し、楽しく安心して暮らせる社会の構築を目指します。

- マニュアル事業から情報を扱う複合サービスへ
- 総合的な情報創造企業への転換（全ての領域で情報をカタチに）

● 青表示は、既存主要事業
● 赤表示は、新領域（今後の拡大領域）



- 既存事業が市場性も含め**鈍化傾向**
- 世界各国どこでも“One Stop Solution”を実現するため、**新領域の拡大**へ

新領域

- 川上、川下業務の**拡大**
- M&A（ナビ、マインズ）による**拡大**
- 全体の**10%以上**のビジネスに

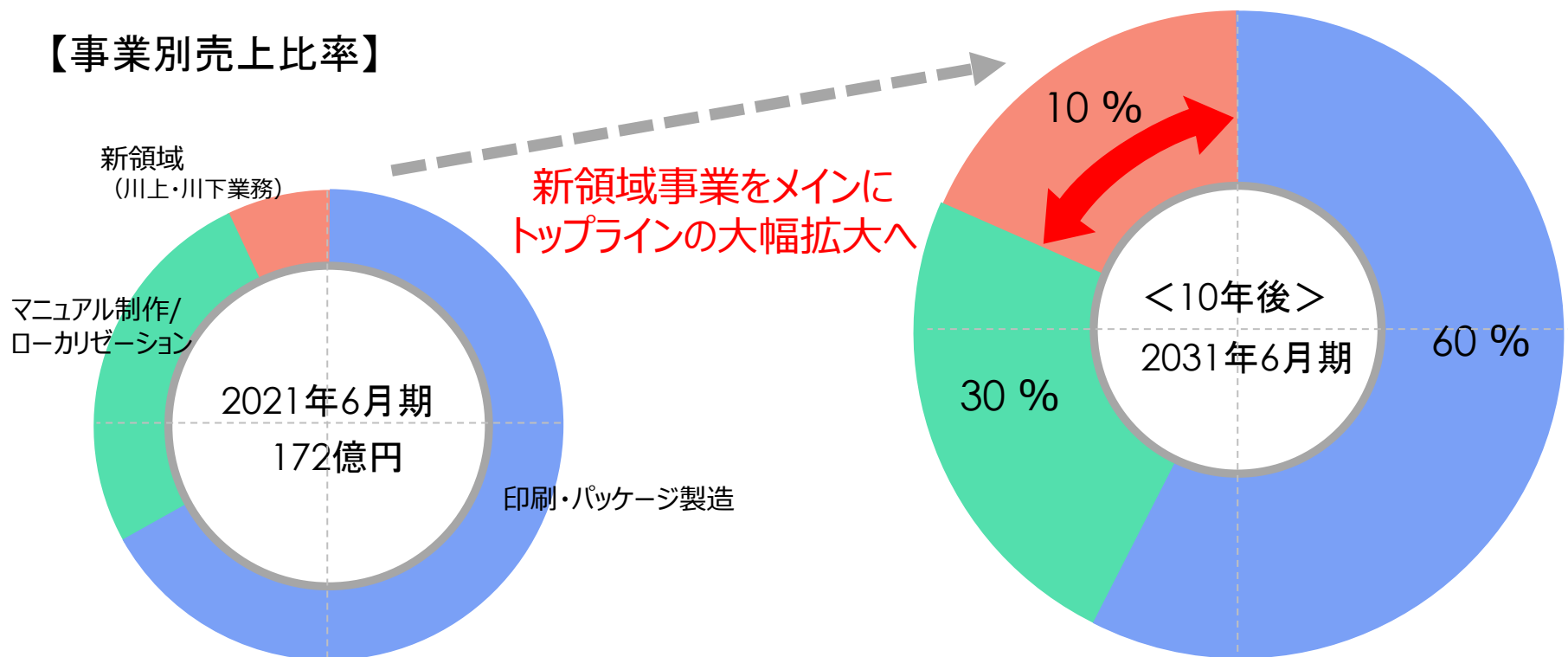
マニュアル制作/ローカリゼーション

- 既存制作は一部鈍化傾向
- 業務系、教育系など**拡大**へ
- 翻訳も特殊分野に**拡大**へ

印刷・パッケージ製造

- 商業印刷、一般取説需要は減少
- 特殊分野、パッケージにて取引規模は**純増**へ

【事業別売上比率】





世界を繋ぐ 人に優しいコミュニケーションの創造へ

「情報創造企業」として、我々は世界の人とヒト、
人とモノを繋ぐコミュニケーションを創造することで、伝えたい情報にカタチを与え、
世界中の人々の心に感動と喜びを創出し、
楽しく安心して暮らせる社会の構築を目指します。

IRに関するお問い合わせ先

株式会社クレストック 人事総務部

電話：053-439-0315

e-mail：ir-info@crestec.co.jp

将来見通し等に関する注意事項

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

また、業界等に関する記述につきましても、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。